

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成9年12月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第69巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.69 no.3

物性研究

1997 / 12

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

「修士論文」募集

例年、本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も1997年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：1998年3月31日（火） [締切厳守]
2. 自薦、他薦は問いません。また、教室の推薦を歓迎します。
3. 論文のコピーを2部 お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスをお持ちの場合は、ご記入下さい。

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。昨年
の場合は、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しました。尚、
掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、
体裁を整えていただく場合があります。
3. 掲載された論文の著者には別刷50部を寄贈します。

「博士論文解説」の募集

本年より、物性分野の博士論文の自己PR的な解説を募集します。研究をはじめの動機と目的、およびその成果と今後に残された課題などを、自らの文脈の中で異分野の研究者にも理解できるように簡潔にまとめて下さい。研究の歴史的な位置付けや異分野との関連性、また失敗談や思いがけない展開、さらにはどの点をどのように創意工夫したかといった観点が、随所に見られるような個性的な解説を望みます。応募に当たっては、自薦、他薦は問いませんが、以下の要領を参考にして下さい。

1. 募集は、随時おこないます。
2. 原稿は日本語で書いて下さい。
3. 原稿の長さは、A4サイズの写真印刷できる原稿で、10～30頁程度。
原稿は2部送付して下さい。
4. 原稿中に連絡先を明記して下さい。E-mailアドレスをお持ちの場合は、
E-mailアドレスも明記して下さい。
5. 掲載された解説の著者には、別刷50部を寄贈します。

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。

[問合せ&送付先]

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel: (075)753-7051, 722-3540

Fax: (075)722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

経理の事務手続きがうるさくなるらしい。年度末までに使い切れなかった（あるいは使い切ってしまうと欲しかった）科研費や校費を、架空の伝票をもらって業者に預けた形にした研究室が少なからずあり、それが発覚して新聞等で叩かれたのだ。そのとばかりでそういうことになるらしい。またか、何とかしてほしいなあ、と思う。もちろん、そういう研究室に対してではなく、融通の効かない事務の規則に対してである。きっと、予算を単年度で使い切ってしまうといけないから、こういう裏技に走る研究者が出るのだ。規則だから、法律だから、というのなら、その規則なり法律なりを変えればよい。そもそも法や規則には目的があるはずで、実際にその目的が達成されているかどうか、別の目的のための弊害となっていないかといったことがチェックされ、うまく機能していないのならば変えるべきなのだ。

大学改革や、行政改革など、「改革、改革」という声を聞いて久しいが、あまり良いほうに物事が変わっていったようには思えない。研究ができるように、という大目的を立てて、その方向に変わってくれることを期待したいのだが。

(S. T.)

物 性 研 究 第69巻第3号 (平成9年12月号) 1997年12月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

編集後記

経理の事務手続きがうるさくなるらしい。年度末までに使い切れなかった（あるいは使い切ってしまうと欲しかった）科研費や校費を、架空の伝票をもらって業者に預けた形にした研究室が少なからずあり、それが発覚して新聞等で叩かれたのだ。そのとばかりでそういうことになるらしい。またか、何とかしてほしいなあ、と思う。もちろん、そういう研究室に対してではなく、融通の効かない事務の規則に対してである。きっと、予算を単年度で使い切ってしまうといけないから、こういう裏技に走る研究者が出るのだ。規則だから、法律だから、というのなら、その規則なり法律なりを変えればよい。そもそも法や規則には目的があるはずで、実際にその目的が達成されているかどうか、別の目的のための弊害となっていないかといったことがチェックされ、うまく機能していないのならば変えるべきなのだ。

大学改革や、行政改革など、「改革、改革」という声を聞いて久しいが、あまり良いほうに物事が変わっていったようには思えない。研究ができるように、という大目的を立てて、その方向に変わってくれることを期待したいのだが。

(S. T.)

物 性 研 究 第69巻第3号 (平成9年12月号) 1997年12月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、年会費 19,200円 (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 69-3 (12月号) 目次

○講義ノート	
「第42回 物性若手夏の学校」(1997年度).....	303
○掲示板.....	580
○編集後記.....	582

物 性 研 究 69-3 (12月号) 目 次

○講義ノート	
「第42回 物性若手夏の学校」(1997年度).....	303
○掲示板.....	580
○編集後記.....	582